

令和5年度

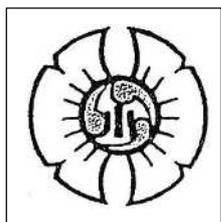
一般社団法人 埼玉県郊外教育協会委嘱 校外教育研究紀要

## 研究主題

特色を生かした体験活動を通して、  
地域とともに育む心豊かな久那っ子の育成



## 秩父市立久那小学校



〒368-0053  
埼玉県秩父市久那2183番地1  
TEL 0494-22-1530  
FAX 0494-22-7856



## 1 はじめに

本校は、明治7年に開校し、来年（令和6年度）で開校150年を迎える。令和5年11月末現在、児童数は53名、複式学級を含む5学級の小規模校である。学区は、緑豊かで四季折々の花や野鳥、田園風景等が見られる自然環境に恵まれた地域である。

学校教育目標を「なかよく かしこく たくましく」として、心豊かな児童の育成を目指している。PTAや地域の方の協力体制もあり、PTAや学校応援団等による除草作業・環境整備活動、本校後援会や地域ボランティアによる教育活動支援等、地域とともに児童の豊かな心の育成と保護者・地域とともに学び育ち合う教育環境を大切にしている。

## 2 研究の概要

### (1) 研究テーマ及びテーマ選定理由

テーマ：特色を生かした体験活動を通して、地域とともに育む心豊かな久那っ子の育成  
テーマ設定の理由

豊かな自然環境に恵まれた本校では、学校応援団を中心とした地域との交流を生かす特色ある体験活動を行っている。その体験活動を通して、地域との連携を深め、心豊かで地域に愛着を持った児童の育成を目指し、本研究のテーマを設定した。

### (2) 研究計画

○ 学校応援団を中心に、学校内外での学習や体験活動を通して、自然や地域と交流し 児童の豊かな心や学校・地域への愛着心の向上を図る。

#### ○スケジュール

- 4月 学校応援団年間指導計画の作成・確認  
学校農園・果樹園に係わる年間計画の確認・苗等の購入  
葛城神社大祭・獅子舞披露
- 5月 きゅうり・なす・ミニトマト・おくら・ピーマンの苗植え 田植え  
カブトムシの幼虫飼育
- 6月 果樹園の梅の収穫、梅干し作り 田植え ジャガイモ、さつまいもの苗植え
- 9月 稲刈り・脱穀 だいこんの種蒔き
- 10月 ステゴビル観察 炊飯体験
- 11月 久那獅子舞練習（～3月）大根収穫・たくわん作り 柿収穫・干し柿作り
- 2月 獅子舞披露（6年生を送る会）
- 3月 研究紀要の作成

## 3 研究の実践

本校には、敷地面積が約1,500㎡の広大な果樹園をはじめ、約300㎡の学校農園やミニ田んぼ等を保有している。特に本校果樹園では、梅やミカン、柿、キウイ、ゆず等の収穫ができるが広大であるため、PTAや学校応援団等の方に草刈りや剪定の協力をしていただながら管

理している。この恵まれた環境を生かし、学校応援団や地域と連携し、久那の特色を生かした豊かな体験活動を通して、地域とともに心豊かな児童の育成につながると考えた。

## (1) 学校応援団との連携

### ①果樹園を活用した取組

毎年6月に果樹園の梅の木から梅を収穫し、それを使って6学年が総合的な学習の時間に梅干し作りを行っている。今年度は、学校応援団の方に教わりながら梅干し作りを行った。久那小オリジナルラベルの袋で個装して、各家庭や来校者、運動会来賓者等に配布した。



### ②学校農園を活用した取組

本校には、約300㎡の学校農園がある。そこで各学年で様々な作物を育て、収穫している。

4年生はそこで収穫した大根を使い、たくわん作りを行っている。たくわんを漬ける準備(洗う・縛る・干す等)は全て子どもたちが行い、干し終わった後、学校応援団の方に教えて頂きながらたくわん作りを行った。

また、学校農園で栽培した大根、里芋、ねぎ、さつまいも等を、PTA行事「ミニ天狗祭り」で作る豚汁や児童集会での焼き芋作り等で活用した。天狗まつりでつくる「てんごう」に使用する竹や麦わら、焼き芋を焼く際に使用した薪は地域の方から提供していただいている。



### ③ミニ田んぼを活用した取組

本校敷地内には約10㎡程度の「ミニ田んぼ」が設置されている。5年生が総合的な学習の時間で稲作体験(苗づくり～代掻き～苗植え～生長観察～稲刈り～脱穀～粃摺り～精米まで)を学校応援団の方のご指導のもと実施した。田植えや稲刈り、脱穀を体験し、米作りの大変さを感じるとともに、米作りに携わっている方々への感謝の気持ちを持つことができた。精米したお米は家庭科の調理実習で炊飯し、自分たちで育てたお米を味わうことができた。



### ④郷土料理作り

4年生が総合的な学習の時間で、秩父の郷土料理をつくる学習をおこなった。今年度は、学校応援団の方に教えて頂きながら、慣れない道具を使って「おっきりこみ」を作った。昔ながらの秩父の味を堪能することができた。



## (2) 地域との連携

### ①柿の収穫・干し柿作り

地域の方からも柿をいただき、2年生が生活科で干し柿作りに挑戦した。高い柿の木から柿を収穫する作業は、地域の方の協力のもと行った。それを学校で、ピーラーを使って皮をむき、ひもで縛り、1ヶ月ほど干した。渋い柿が、干すことで甘い干し柿になることを体験することができた。



### ②地域の伝統芸能の継承

3年生が総合的な学習の時間で、久那地区伝統の獅子舞を学習する。久那獅子舞保存会の方々に教えて頂きながら、2学期後半から週1回の練習を行い3月の「6年生を送る会」で披露した。子供用の新しい獅子頭を身に付け、リコーダーや大太鼓、花笠のささらの音に合わせ、上手に舞うことができた。



### ③埼玉県指定天然記「ステゴビル」の観察と江戸時代の古文書の見学

久那地区には、埼玉県指定天然記念「ステゴビル」が群生している山がある。10月ごろに3年生が観察に行った。また、山を所有しているお宅にあるとても貴重な江戸時代の「平賀源内古文書」も見学した。久那の歴史に触れ、とても貴重な体験をすることができた。



## 4 成果と課題 (○成果 ●課題)

○地域の方々や学校応援団の方との交流を通して、ふるさと「秩父」のよさを理解し、自然に対する興味・関心を高めることができた。

○社会科で学んだ農業や林業の人々の努力や工夫等が、実際の体験活動を通して実感を伴う学びにつながった。

●これらの体験活動を持続可能な活動にするためにも、より効果的な教科横断的な教育課程を考え、見直し・検討等をして共通理解する必要がある。

●学校応援団や地域の方の高齢化が進んでおり、指導者の後継者が必要である。